

平成27年度 指定管理業務 事業評価書

施設名	幸手市民文化体育館(アスカル幸手)
施設所管課	教育委員会 スポーツ振興課 (内線 652)
指定管理者名	NEM/NTTファシリティーズ共同事業体
指定期間	平成26年4月1日 ~ 平成31年3月31日 (2年目)

評価項目		評価基準	自己評価	所管課評価
I 履行の 確認	1 施設全般管理運営に関する業務			
	(1)職員体制	基準に基づき、適正な人員配置がなされたか	3	3
	(2)職員研修	業務に必要な研修・教育が適切に行われたか	3	3
	(3)利用の促進	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	4	4
	2 施設利用に関する業務			
	(1)利用状況	利用者数・稼働率等は、適正な水準であるか ※1	4	4
	(2)利用料金	利用料金の設定、徴収・減免・還付の手続きは適切であるか	3	3
	3 保守点検並びに清掃等業務等			
	(1)保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか	3	3
	(2)清掃・維持管理業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理業務が適切に行われたか	4	3
	(3)保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか	3	3
	(4)修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか	3	3
	4 事業の実施に関する業務			
	(1)指定業務	基準に基づく指定業務が適切に行われたか	4	3
	(2)自主事業	基準に基づく自主事業が適切に行われたか	4	4
	5 個人情報の取扱い	個人情報の取り扱いが適正に行われたか	4	3
	6 管理目標	設定目標に対する結果は妥当であるか ※2	4	4
	7 緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されているか 緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っているか	4	3
	8 その他			
	(1)記録管理	業務日誌や点検・修繕等の履歴を適切に整備・保管しているか	4	3
	(2)経理	経理処理が適切に行われたか	4	3
	(3)意思疎通	市や関係機関との連携が適正に行われているか	4	3

評価項目		評価基準	自己評価	所管課評価
Ⅱサービスの質の評価	1 利用者満足度	利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか	4	3
	2 維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理は適正であるか 備品などの設備の維持管理は適正であるか	4	3
	3 運営業務	備品の貸出状況や消耗品等の補充状況は適切であるか 利用許可など利用者への接客対応は適切であるか	4	3
	4 指定事業・自主事業			
	(1) 指定事業	実施された事業内容は、質の高いものであったか	4	3
	(2) 自主事業	実施された事業内容は、質の高いものであったか	4	4

評価項目		評価基準	自己評価	所管課評価
Ⅲサービスの安定性の評価	1 事業収支	事業収支は妥当であるか ※3	4	3
	2 経営状況分析指標	経営状況分析指標の結果は妥当であるか ※4	3	3
	3 団体等の経営状況	団体等の経営状況分析指標の結果は妥当であるか ※5	3	3
合計得点		I・Ⅱ・Ⅲの評価点数の合計(得点/満点)	92 / 100	80 / 100

総括	指定管理者の自己評価	アスカル幸手開館20周年の27年度は自主事業の開催に積極的に取り組みました。幸手青年会議所様との協業にて、ハッピーハンド大賞で市民の皆さまがお選びになった女性部門第一位の日本エレキテル連合を招聘し『お笑いLIVE』を開催し、併せて『2015ハッピーハンド大賞授賞式』を行ない、多くの市民の皆さまにお喜び頂くことが出来ました。また、27年度もトレーニング室のご利用促進に積極的に取り組み、「無料お試しキャンペーン」、「スタンプカードの導入」、「パーソナルトレーニング」など様々なお客さまサービスを行った結果、トレーニング室のご利用件数は85,427件となり、過去5年間で最高件数であった26年度と比較して、更に7,107件増(+109.0%)の結果となりました。
	施設所管課の評価	協定の基準を遵守し、良好な管理運営を行っている。施設管理の面では、保守点検や修繕を適宜行っており、省エネ対策も積極的に実施していた。自主事業では多様な企画を実施し多数の参加者があった。トレーニング室においては、新規利用者向けには体験キャンペーン、定期利用者に向けてはスタンプカードの導入等、ニーズを捉えた企画を実施し、昨年よりも利用者数をさらに伸ばした。参加者の要望からヨガ教室を増設するなど、利用促進の取り組みのみならず、利用者要望を活かしている点も評価できる。

総合評価	区 分	S
	特記事項	

《評価区分》

評価点数	4	協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた内容である
	3	協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った内容である
	2	協定書等の基準を遵守しているが、内容の一部に課題がある
	1	協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な内容である
総合評価	S	極めて良好に施設を管理している。(評価点数がすべて3以上であり、かつ4が2つ以上である)
	A	良好に施設を管理している。(評価点数がすべて3以上である)(上記以外)
	B	概ね適正に施設を管理しているが、内容の一部に課題がある。(評価点数に2が含まれている)
	C	改善を要する管理運営状況である。(評価点数に1が含まれている)